

日本天文学会春季年会講演申込用紙

(締切4月5日必着)

講演を申込まれる方は、下の用紙に御記入の上4月5日必着で下記宛にお送り下さい。

(〒181) 東京都三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内
日本天文学会年会係 行

なお、今回から講演予稿集を写真版印刷とします。したがって自筆の原稿がそのまま印刷されますので、次の諸注意を必ず守って記入して下さい。

(1) 講演申込み及び予稿集原稿には必ずこの用紙を使って下さい。他の用紙を使用したものは受付けません。

(2) 講演1題目毎にこの用紙1枚を使用し、講演予稿を400字以内にまとめ下さい(余白が残ってもかまいません)。2題目以上申込まれる方は、余分の用紙を各支部理事に請求して下さい。

(3) 講演申込書の氏名、所属はそれぞれの欄に記入し、連名で所属の異なる場合は、*、**印で区別して下さい。ただし筆頭者は無印とします。

以下、予稿集原稿については、

(4) 記入には必ず黒インクを使用して下さい。青インクでは写真版印刷ができません。

(5) この原稿用紙をそのまま約 $\frac{1}{2}$ に縮尺して印刷しますので、文字は読み易い楷書で字枠1杯の大きさに書いて下さい。ローマ字も活字体にして下さい。

(6) 講演題目は指定の字枠の左端から書いて下さい。もし字枠が足りない場合は右側にはみ出して下さい。

(例) 太陽電波の……について
← つめて書く

(7) 氏名、所属は指定の字枠の右端で終るように適当な字枠から書き出して下さい。もし字枠が足りない場合書き初めの位置を左側にのばして下さい。

なお所属は、例えば(京大理)、(福島大教育)、(緯度観測所)のような書き方にして下さい。連名で所属が異なる時は、各人の名前の直後に所属を書いて下さい。

(例) 田中一郎、山本和夫 (京大理)、……、山田太郎 (花山天文台)
つめて書く →

(8) 図、グラフは縮尺を考慮した大きさに黒インクで書いて、原稿用紙の希望の位置に貼りつけて下さい。写真を入れることは避けて下さい。

..... 切 取 線

講演申込書

	氏 名	所 属
題 目		スライド 有 無 所要時間 分
分 類	天体力学, 位置天文学, 恒星天文学, 天体物理学, 電波天文学, 実験観測装置, その他	

